

知事コメント(原稿)

令和3年12月17日(金)

- 1 本日、新型コロナの陽性となっていた、キャンプハンセン勤務の米軍基地従業員で、うるま市在住50代男性のウイルスが、オミクロン株であることが判明いたしました。同基地では、海外渡航歴のある者を含む新型コロナウイルス感染症の70名規模のクラスターが発生しておりますが、本従業員と当該クラスターとの疫学的関連性については、現在調査中です。

(発生の経緯について)

- 2 当該陽性者については、12月12日に症状がみられたため、翌13日にPCR検査を受検しました。

12月14日には陽性と診断され、発生届が保健所に出されたところです。

15日には検体を県衛生環境研究所に搬送、L452Rスクリーニング検査を実施し、その結果、L452R変異すなわちデルタ株が陰性であることが判明しました。同日深夜にゲノム解析を開始し、本日オミクロン株であることが判明したところです。

この結果については、国立感染症研究所にも確認をしています。

(オミクロン株封じ込めの取組～検査体制)

- 3 県では、陽性検体については、可能な限りL452Rスクリーニング・ゲノム解析を実施し、早期にオミクロン株の検出ができる体制を構築しております。また、当該陽性者のほかに2名の方がL452R陰性で、オミクロン株のゲノム検査を実施しているところです。

(オミクロン株封じ込めの取組～医療提供体制)

- 4 現在、当該患者につきましては、重点医療機関において個室管理の下、入院加療を行っていただいております。

また、今後に向けて、本日、関係機関に対して、北部・中部地域における医療フェーズの引上げ(1から2へ)を通知するとともに、コロナ患者受入れ医療機関に対して、個室管理での入院受入れを想定した病床確保に向けた準備を進めるよう依頼を行ったところです。

県としましては、引き続き、重点医療機関をはじめ関係機関と連携を図り、オミクロン株封じ込めに向けて取り組んでまいります。

(オミクロン株封じ込めの取組～接触者対策)

5 また、感染拡大を未然に防止するため、保健所による積極的疫学調査を強化しておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(県民に理解・協力して欲しいこと)

6 なお、オミクロン株については、まだ未知の部分が多く、感染力が高まっているとされてはいますが、病原性も高まっているという情報は確認されておりません。病原性が低下していたとしても、高齢者など体力の弱っている方が感染すると重症化するという可能性は十分あります。

7 そのため、感染を拡げないように皆様の協力が必要です。必要以上に恐れることはありませんが、これまでお願いしてきました基本的な感染対策は引き続き徹底して頂きますようお願い致します。

8 特にご注意いただきたいことは、

- 大人数や長時間の会食については、できるだけ控えていただくようお願いいたします。
- 発熱など症状のある方は、学校や仕事を休み、外出を自粛していただくようお願いいたします。
- 米軍基地、特にキャンプハンセンの関係者については、外出を控え、人との接触を避けていただくようお願いいたします。明日18日と明後日19日、県総合運動公園に設置している県の接触者PCR検査センターで無料で検査を実施します。時間は12時から20時までとなっております。
- 濃厚接触者には、ホテルでの健康観察を案内しますので、是非ホテル療養にご協力をお願いいたします。
- 調査で濃厚接触者と指定されなかった方でも、米軍基地内の陽性者と接触のあった方など、感染が心配される方は、気軽に接触者PCR検査センターで受検して下さるようお願いいたします。併せて、14日間にはできるだけ外出を控えてください。
- なお、米軍基地関係者に対する偏見や差別的扱いがないようお願いいたします。

9 今後、随時情報発信してまいりますので、引き続き、県からの情報発信に注意してください。ご協力をよろしくお願いいたします。

(在沖米海兵隊の新型コロナウイルス感染者急増について)

- 1 今朝、在沖米海兵隊から、米軍施設内で70名の新型コロナウイルス感染者陽性が判明したの報告を受けております。
在沖米海兵隊によると、今回の感染者は、今月初旬に、部隊移動により、米本国の米軍基地から沖縄の米軍基地に直接移動してきたとのことであり、民間空港は使用されていないことを確認しております。
- 3 米軍では、移動してきた者は一定の期間、行動制限下に置かれることになっており、その期間内に陽性が判明したとのことであります。
そのため、地域住民との接触はないとのことで、現在、継続して、追跡調査を行っているとのことです。
- 4 沖縄県では、在沖米海兵隊に対し、感染者増加への早期対応のためにも、米軍内でゲノム解析を行うこと、基地内の健康保護態勢レベル（HPCON）のより強い措置をとること、今回、陽性者が急増しているキャンプハンセン関係者の基地外への外出を禁止するなどの対応について、要請を行いました。
在沖米海兵隊は、本日の午後から健康保護態勢レベルをより強い措置へと引き上げ、今後も陽性者の隔離対策等を徹底していくとのことです。
また、日本政府（外務省沖縄事務所、沖縄防衛局）に対しても、米軍のゲノム解析実施への働きかけについて、要請をいたしました。
- 5 沖縄県としては、米軍に対し、今回のコロナウイルス感染者急増への早期の強い対応を引き続き求めてまいります。